

二〇二二年度 入学試験問題

国 語

第三回

【注 意】

- ・ 試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・ 問題は一ページから七ページまでです。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・ 字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・ 記号・句読点がある場合は字数に含みます。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

問一

——(1)「このこと」とありますが、これはどのようなことですか。説明としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 世の中を流れてくる情報に、多くの人々が関心を持つということ。
 イ わたしたちは、知っていることから影響えいきやうを受けるということ。

ウ 人々は「ダイエット」などの情報にふりまわされがちだということ。

エ わたしたちは、知っていることよりも知らないことのほうが多いということ。

問二

——(2)「少子高齢化こうれいかの問題」とありますが、筆者が、この問題の研究を例として、主張しているのはどのようなことですか。この箇所かしょより後の語句を用いて、解答らんに三行以内で説明しなさい。

問三

——(3)「この協力体制」とありますが、これが指すものを漢字二字で文中から抜き出しなさい。

問四

——(4)「独特の問題が生じます。」とありますが、生じるのはどのような問題ですか。解答らんに二行以内で説明しなさい。

問五

——(5)「ずいぶんと緩い規則の上でなされている」とありますが、ここではどのようなことを指していますか。解答らん(四十五字以内)で説明しなさい。ただし「正規雇用」「非正規雇用」という語は使用しないこと。

問六

〔A〕〔D〕に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア そもそも イ たとえば ウ なぜ エ そこで

問七

——(ア)～(オ)のカタカナを漢字に書き直しなさい。

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 社会にはさまざまな仕事があるが、それはおおまかに物づくりをする仕事と事務的な仕事に分けられ、前者のほうが社会を豊かにすることに役立っている。

イ 社会で起こっていることには計画されたものではないことがあり、また、仕事と賃金の関係など、対応関係が明確に決められていないこともある。

ウ 社会のリーダーは自分の意志で社会を動かそうとするが、少子高齢化の問題のように、リーダーの知識不足が原因でうまくいかないこともある。

エ 社会には取り締まりの「緩い」ことが多くあり、そのために非正規雇用の違法な労働などが放置されることが起きている。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

25

20

15

10

5

55

50

45

40

35

30

90

85

80

75

70

65

60

120

115

110

105

100

95

問二

——(2)「銀青色」とありますが、色を使った次の一～五の成句の意味を、後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 一 紺屋の白袴こうや ばかま
- 二 朱しゆに交われれば赤くなる
- 三 くちばしが黄色い
- 四 腹が黒い
- 五 紅一点

「意味」

ア ずるくて、悪い考えをもっているようす。

イ まだ年が若くて、未熟であることのとえ。

ウ 他人のためにばかりいそがしくて、自分のことはおろそかにする

ものだ、ということ。

エ 人は、まわりの環境かんきやうや人に影響えいさうされやすく、付き合う友だちに

よってよくも悪くもなるということ。

オ 男の人の中に女の人が一ひとりだけ交じっていること。

問三

——(3)「洋次郎はめずらしい動物でも見る目つきになって、弟を見直した。」とありますが、この時の洋次郎の心情を、解答らんに六十字以内で説明しなさい。

問四

——(4)「北斗七星がゆっくりとくずれば始める気がしていた」とありますが、言おうとしているのはどのようなことですか。解答らんに二行以内で説明しなさい。

問五

——(5)「砂漠さぼくがひろがり始める。」とありますが、この時のふたりの心情を、解答らんに二行以内で説明しなさい。

問一

——(1)「ほんまに人をびつくりさせる機械や……。」とありますが、洋がプラネタリウムを見て驚おどろいた理由がいくつかあります。含まれる理由としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 数十秒で十万年後の空から現在の空に戻もどることができから。

イ 終わると洋次郎があくびをしようほほど朝の風景を精巧せいこうに再現していたから。

ウ 絶対に変わらないと思っていた北極星の形が変わる未来を映し出したから。

エ 解説者が説明のタイミングに合わせて自在に夜空を動かせるようになってから。

問六

——(6)「いま、そんなことを考えている自分のことが、おとうちゃんにすまない気もちになって、洋は自分のももをきゅんとつねってやった。」とありますが、洋が父にすまないと思ったのはなぜですか。理由としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア けがをしたあとの父を実際にはまだ見ていないのに、勝手に弱々しい姿を想像してしまったから。

イ 父が大変な目にあつたとも知らずに、伯父の家で買ったパンを食べることばかり考えていたから。

ウ けがをした父を心配するべきときに、その日に会った少女のことを、顔を鮮明に思い出すほど考えていたから。

エ いまは兄弟で互いに支え合うことが父の願いであるはずなのに、洋次郎のことを忘れて母がいつ来るのかということまで頭がいっぱいになっていたから。

問七

A D に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア ゆったり イ あっさり ウ ぐんと エ ぼやんと

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア プラネタリウムの解説者は、ボタンを使って機械を自在に操作しており、説明もわかりやすいうえに、洋次郎も洋も知らないことばかり話してくれた。

イ 洋次郎はプラネタリウムに連れて行ったりパンを買ってやつたりと甲斐甲斐しく洋の面倒をみているが、心の底では洋を嫌っている。

ウ 伯母は洋次郎と洋の母の兄嫁で、突然やってくる二人のことをいつも優しく迎え入れてくれ、父がけがをした時も二人がシヨックを受けないよう配慮している。

エ 洋は天文学入門の解説を読んでいるほど天文学に詳しいので、数万年後の将来に天体が変わることも当然知っていた。

